



藤井浩人 月刊マガジン

text and photographs by Hiroto Fujii



10月になりました

まだまだ日差しの強い日が続きますが、朝晩はすっかり涼しくなりました。先日は大型台風の接近が心配されましたが、進路は逸れているようで被害がないことを願います。

緊急事態宣言が今日から解除。しかし、美濃加茂市は本日から14日までは、岐阜県独自の対策の対象地域に指定されました。飲食店、遊戯施設等

は引き続き営業時間短縮要請が出されています。

緊急事態措置が解除され、

気候の良い行楽シーズン。気持ちが悪くならないように、感染防止対策の徹底を意識しながらの生活が求められています。



新型コロナの影響

今年も既に多くの行事が中止となっています。

例年この季節は、地域の祭りや運動会、農業の収穫時期に合わせた農業祭や産業祭（美濃加茂市では市民まつり）が盛大に開催されていました。

それぞれの行事を開催するにあたっては、多くの労力が必要で、中止の決定に安堵している人も多いと思います。

当然ながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止は優先度の高いことであり、これらの中止決定は必要不可欠だったと思います。

しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の影響下の2年目。いくつもの行事が2年続けて中止となったことに対して、中止の中でも行わなければならないことが幾つもあるのではないかと思います。



藤井浩人 月刊マガジン

text and photographs by Hiroto Fujii

私たちは、毎年の行事のノウハウや目的、感動を単に言葉だけで伝えてきたわけではありません。実際の行事を通じて、経験を引き継ぎ、次の人に伝えてきました。時には、今では懐かしく感じる懇親会などで親睦を深め合ってきました。

2年の空白期間の後（まだまだ続くかもしれません）、どのように各行事を再開するのか、これからの大きな課題となると思います。できることなら、行事の開催の代わりに引き継ぐべきことをしっかりと抑えておくような機会は必要でしょう。行事によっては、もともと開催する意義のなかったものも浮き彫りになっているのかもしれない。

時々、お話を聞かせていただく伊深の正眼寺では、

コロナ禍でも基本的に行うことは何一つ中止していないそうです。

コロナにより失われるものと、中止することで失われるものを見極めることが大切だと思います。

自民党総裁選

9月29日。自民党総裁選挙が行われ岸田文雄新総裁が誕生しました。

こちらでも何度ご紹介しておりますが、私は金子俊平



衆議院議員の秘書を3年も務めさせていただいています。岸田新総裁は、金子議員が所属する宏池会の会長。その繋がりは非常に強固なものだと感じています。

実際に、数年前にも岸田新総裁は美濃加茂市を訪れていました。





Vol.9

2021年10月号

藤井浩人 月刊マガジン

text and photographs by Hiroto Fujii

10月4日の国会での議決を経て、内閣総理大臣への就任が予定されています。

これからは、我が国のトップに地元選出議員を通じて、地域の実情や私たちの思いを届けるには絶好の機会だと思います。「国の政治は、私たちと関係のないもの」というご意見をいただくことがありますが、決してそうではありません。

私たちが考え、知恵を出し合うことで地域が変わり、国が変わります。

来月には行われる総選挙も控える中で、政治への批判ではなく、提案をぜひ皆さんと行いたいと思います。

連載が、まもなく60話！

多くの皆さんに応援いただいている私の経験を記した“note”「前科者と呼ばれても、政治家として闘うワケ」が10月1日で57話目となりました。

毎日更新を目指して連載していますが、是非、ご一読いただき、ご意見などいただけたら嬉しいです。



藤井浩人